

# 「統計情報のXML利用環境の整備に関する調査」

## 第 3 回「統計XML化等調査研究委員会」議事概要

平成 22 年 2 月 18 日（木）

14 時 00 分～16 時 00 分

於：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

霞ヶ関オフィス セミナールーム A

|     |        |                                                                                                                     |
|-----|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 出席者 | 委員     | 情報セキュリティ大学院大学 教授 廣松 毅（委員長）<br>独立行政法人情報処理推進機構<br>情報セキュリティ分析ラボラトリー長 小松 文子<br>早稲田大学理工学術院 教授 山名 早人<br>一橋大学経済研究所 教授 安田 聖 |
|     | 事務局    | 経済産業省 調査統計部統計情報システム室長 湯原 孝志<br>経済産業省 調査統計部統計情報システム室 参事官補佐 町田 昇<br>経済産業省 調査統計部統計情報システム室 係長 三川 幸英                     |
|     | CTC    | 森田、内田、大場、鎌田                                                                                                         |
|     | NRC    | 高島（司会進行）、近藤、速記者                                                                                                     |
|     | オブザーバー | 経済産業省 調査統計部（2 名）                                                                                                    |

### 1. 開会

### 2. 統計データ利活用調査アンケート結果報告について

○2 月 12 日時点の回収分を持って最終の集計とすることで各委員合意。

### 3. 統計データ利活用調査ヒアリング調査結果報告について

○統計データを専門的に活用している企業の担当の方をヒアリングの対象とした。既に独自に工夫して統計データを利用しているケースが多い。特に経済産業省を名指しして、改善点等というのは出ていないようだが、今後の公表データのあり方等について少し懸念する意見もあったようにも見受けられる。

○今後の提供環境を整備する上で、省庁間の連携をとるのは難しいのではないかと。特に、発表前にデータが漏れてしまうことも懸念されている。また、そういったデータを 1 箇所に集めようとする、発表後すぐにデータを取得できるかという懸念もある。そういう意味で、あまり整備する必要はないという回答もあった。

○経済産業省だけが改善しても駄目だという意味で、「改善されると思わない」との回答があった。

○自然言語による検索や、統計とグラフ等が見られると良いとの意見があった。

○統計データの説明としては、この調査は何をしたという解説が 200～300 字で書かれてあり、調査対象が何であるか等がコンパクトに出ていて、e-Stat から入れるはず。経済産業省だけではないが、それに類する入口をどこかに用意すれば良いのではないか。

○もっと便利で高度な検索機能が欲しいという意見がある一方で、Google 等の現状の検索機能で満足している者も多い。パワーユーザは、容易にデータに飛べるため、高度な検索は要らないという意見もあり、利用者によって様々である。

○専門の方は困っていないが、一般の方はどこにどういう統計があるか分からないので、あいまい検索の様な機能があればいいのではないかという意見があった。

#### 4. 報告書の検討について

報告書の案について検討し、以下の点について検討、修正を実施する。

○報告書の中で、ニーズの抽出結果と調査結果のまとめ、ニーズから導かれる機能などが、報告書内でリンクしていない点が多々あるので、整理して修正する。

○用語についても統一されていないものが多々あるので、整理して修正する。また、用語集も作成する。

○クラウドのコスト比較で、保守費用も入れたサービスレベルの違いや、サーバの時間貸しと専用サーバの場合など、もう少し厳密に比較した方が良い。

○クラウドのメリットであるピーク時の処理能力に併せたリソースを常時用意しておく必要がない点について記述すべき。

○情報セキュリティ対策の要件が抜けているので、どこかに記載すべき。

#### 5. 閉会

以下の事項を確認し、閉会。

- ・ 報告書については、修正後に各委員に見て頂く。

- ・ 報告書のまとめ方については、いろいろコメントを頂き修正する。最終的には委員長、事務局に一任頂く。
- ・ 報告書は製本し、委員各位とアンケート及びヒアリングに協力頂いた方々に配付する。

以上